

さくら会 会報

故植草完先生を偲ぶ

学校法人 植草学園 理事長 植草 和典

附属高等学校の校長であった植草完先生が亡くなって、一年が経とうとしています。67歳という若さで急逝したため、皆さんも驚かれたことと思います。昨年3月に行われた葬儀には、多くの同窓生の皆さんにご参列いただきありがとうございました。

植草完先生は、県立船橋高等学校などで教鞭を取っていましたが、平成2年に縁あって植草学園文化女子高等学校（現植草学園大学附属高等学校）に赴任し、平成23年から校長として高校の発展に尽くされました。また、平成25年からは学園の副理事長となり、私（理事長）を支えてくれる最も頼れる存在でもありました。

平成の時代は植草学園にとって、大きな変革期であり発展期でもありました。平成11年に念願であった植草学園短期大学が、平成20年には植草学園大学が開学します。加えて、実習施設となる植草弁天保育園（平成21年）と植草学園千葉駅保育園（平成30年）を開園しました。しかし、この間に、植草学園を長年支えてくれた植草文化服装専門学校、植草幼児教育専門学校が廃校となりました。

大学・短期大学の設置は、学園にとって将来を決める大事業でした。準備は全学体制で行われ、私（当時は学園本部長）と完先生もその準備に大きく関わったのは当然です。特に短大の設置は、職員の誰もが初めての経験であり、故植草ひう理事長と親交のあったいくつかの大学訪問から始めました。遠方では四国の大学まで完先生と訪問し、施設見学や設置業務等の指導を受けました。多分、当時の学園にとって若い2人の加入は、大いに期待されていたことと思います。徐々に学園経営に関することは、2人で情報を共有し何でも相談するようになりました。

現在、理事長室には、かつて理事長・副理事長であった植草ひう先生、植草昭先生、植草範子先生とともに植草完先生の遺影が飾られています。令和に入り、コロナ禍や少子化の影響で、学園の経営は益々難しくなっています。そんな状況の中、学園の舵取りを担う理事長の判断が、適切であるようにと常に見守ってくれているように思います。



植草学園卒業のカップルへ 「フクロウの置物」をプレゼント



植草学園が経営する学校を卒業した人同士のカップルに、幸せを呼ぶ「フクロウの置物」を学園長（理事長）先生からプレゼントします。

ふくろうは西洋では知識の象徴、日本では周りをよく見回すことから家庭を守るとか、商売繁盛とも言われ、縁起がよく幸せを呼ぶ鳥と言われています。この「フクロウの置物」を、学園長の友人で陶芸家の黒川淳氏（箱根 千石窯）が一つつ手作りで仕上げてくれました。フクロウの背部には植草マークも入っています。家のどこかに飾り、幸せな家庭を築いて行って下さい。中にLED ランプを入れると、夜も楽しめます。



植草学園さくら会
会長 小林 鶴枝
（幼専卒13期生）

※卒業生同士で結婚された方は、「さくら会報」へ近況を報告して下さい。キャリア支援課から「フクロウの置物」をお送りいたします。

植草学園さくら会
令和4年度活動報告

1 令和4年8月6日(土)

第1回理事会 令和4年度植草学園さくら会総会

2 緑米祭 令和4年11月12日(土)

植草学園さくら会企画「大抽選会」開催（第12回）

3 令和5年2月18日(土)

第2回 理事会 L棟2階会議室5

4 同窓会報発行

附属高等学校、短期大学、大学 同窓生に発送

植草学園大学



会長挨拶

植草学園大学同窓会
会長 半田 貴大

いつも同窓会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。大変な状況が続いてありますが、卒業生の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。コロナと共存する生活様式は不便さも多々ありますが、日々元気に過ごされていることを願っております。

さて、今年度の会報も昨年度に引き続き、同窓生同士の結婚をピックアップしてみました。華やかな一面を飾ることができましたので、ご協力いただいた皆様には感謝申し上げますとともに、同窓生の皆様へ幸せのお裾分けが少しでも届いておりますと幸いです。

また、私は現在本学キャリア支援課にて勤務をしています。同窓会活動はもちろん卒業生の就職支援にも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。キャリア支援課でお待ちしておりますね。

今後も皆様に楽しんでもらえるような企画・運営を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。各イベントでまた皆様とお会いできることを願っております。

発達教育学部では令和3年度末に小学校教諭17名、特別支援学校教諭10名、公務員保育士5名の成果を上げることができました。令和4年度も引き続き充実した指導の成果を期待しているところです。

保健医療学部リハビリテーション学科は来たる令和5年4月に4回目の入学生を迎え、学科が完成します。理学療法士の令和3年度の国家試験合格率は87.5%でした。令和5年度末には作業療法学専攻の第1期生がいよいよ国家試験に挑むことになります。良い成果をご報告したいと思います。

令和4年度、植草学園大学は「高校生が選ぶ大学ランキング「映え」スポット編」(高校生新聞)で全国11位に選ばれました。最近では映画やドラマなどの撮影地としてキャンパスが活用されることも多くなっています。懐かしいキャンパスの姿をテレビ等でぜひご覧ください。



学長挨拶

植草学園大学
学長 中澤 潤

先生からメッセージ



発達教育学部
村上先生

2012年4月。桜が咲き誇る植草学園大学にやってきました。どんな世界が待っているのだろう。ドキドキワクワクしたことが、今では、懐かしく思います。授業やゼミでの「聴き合い活動」を通して素敵なみなさんと出逢えて本当に幸せでした。笑いあり、涙あり、感動あり、発見ありの11年間。みなさんの成長する姿を見られたことで、私のモチベーションと自己有用感が高まりました。ありがとう。

今年度で、私は植草学園大学を去ります。大学では会えませんが、心は繋がっています。どうぞ、これからも自分の進み道を切り拓いてください。疲れたら立ち止まって休んでください。そんな時に思い出してくれたら幸いです。いつまでも応援していますよ。

早いもので大学創立から14年になります。最初の頃の卒業生は病院や施設の中堅クラスとして活躍し、学生実習の指導もお願いすることができるようになりました。「現場の話を聞く会の講師」や「OSCEの評価者」として大学の教育に協力してくれています。現役学生に対する先輩方の話は教員よりも教育効果があります。また、卒業したばかりの卒業生も休みの日に大学に顔を出してくれます。そんな時、皆さんの顔を見て、本当に植草学園大学は卒業生の皆さんと一緒に作り上げてきたんだという実感が湧きます。皆さんも忙しいとは思いますが、時には大学に顔を出してください。コロナが落ち着いていれば杯を傾けながら楽しい時間を過ごしたいと思います。待ってます。

保健医療学部
桑名先生



活動記録

2年ぶりのホームカミングデー！
現場で活躍するみなさんの元気な姿を見ることができました♪

ホームカミングデー



みんな！
元気にしてるかい？！

総会



2022
06.25 sat

令和4年度の緑栄祭では、うえたるチャリTシャツを販売。売上は、各地の災害義援金等に寄附します。購入して下さったみなさま、ありがとうございました！



コロナで自粛していた3人組活動再開！



UETARO.UEKUSAUNIVDOSO

緑栄祭



2022
11.12 sat

大学同窓会Instagramでは、同窓生のみなさまへ向けてゆる〜く情報発信！こんな情報がほしい！こんなお知らせを配信してほしい！などなど、ご意見・ご要望があればお寄せください！

Happy Uedding

第2弾

あのカップルは今…



多田亮太郎さん (8期生) 西村優香さん (8期生)



五木田耕一郎さん (3期生) 安藤美咲さん (3期生)



村山一晴さん (8期生) 町田凜沙さん (8期生)



神定亮太さん (9期生) 鈴木来美さん (9期生)



寺田廣大さん (9期生) 水石若菜さん (9期生)

3人の子ともたちとにぎやかな
毎日を送っています！



寺田廣大さん (9期生) 水石若菜さん (9期生)

編集 委員より

今回も同窓生のHAPPYなニュースをお届けしました♡今後も引き続きご紹介していきたいと思っておりますので、じゃんじゃん情報をお寄せください！また、当時とは違う大学を感じることができるかもしれませんので、イベント等がなくても遊びに来てくれると嬉しいです(^▽^)まだまだコロナ禍が終息する気配はありませんが、令和5年度は同窓会の活動も徐々に再開していきたいと思っています。みなさんにお会いできる日を役員一同楽しみにしております！ 植草学園大学同窓会 役員一同

植草学園短期大学

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 関 桃子
(児童障害福祉専攻18期生)



卒業生の皆様、こんにちは。同窓会活動にご理解ご協力頂き、ありがとうございます。昨年はコロナ禍になり開催ができずにいた「職場を語る会」を3年ぶりに開催することができました。卒業生が集まり、卒業生同士や先生方と懐かしい学生時代を思い出しながら楽しいひと時を過ごすことができました。また仕事の悩みや相談など皆で話す場面もありました！今年度も開催予定ですので、ぜひ足を運んで頂き、皆さんと同窓会活動を盛り上げていけたらと思っています。

学長挨拶

植草学園短期大学 学長 中澤 潤



「子ども未来学科」では一定数の社会人学生を受け入れています。さまざまな背景を持ちながら、保育者を目指す方々の真剣な学びの姿は、高校卒業後ストレートで入学してきた人たちにも影響を与えています。ストレート入学の学生さんの卒業後、短大の良さが伝わりお母さんが入学したこともありました。植草で親子2代という話は聞きますが、この場合は子親2代ですね。

令和3年度末に短大では小学校教諭1名(専攻科)、特別支援学校教諭12名(専攻科4名、短大卒業後植草学園大学での科目履修生8名)、公務員保育士4名(こども未来学科3名、専攻科1名)の採用者を出しています。令和4年度の成果も期待しているところです。

子ども未来学科への応援、引き続きよろしくお願いいたします。

同窓生通信

児童障害福祉専攻
伊藤 楓さん



私は植草弁天こども園に勤めて6年目になりました。5年間3歳以上児クラスを担当し、現在は1歳児クラスの担任をしています。

3歳以上児クラスでは異年齢クラスや1人担任などいろいろな経験をさせてもらいました。学年ごとに子どもたちの姿が違い、関わり方や保育の進め方などにたくさん悩むこともありましたが、その間にいろいろな子どもたち、先生方と出会い、たくさんの学びがありました。3歳未満児クラスでは、同じクラスにいても月齢によって発達が全く違うこと、子どもとの関わり方はもちろんさまざまな視点から子どもたちをみていくことの大切さを改めて実感しています。今までの経験も活かしつつ、新たにいろいろなことを学びながら過ごしています。

毎日が楽しいことばかりではなく、たくさん悩んだり諦めようと思ったりしたことも何度もありますが、クラス関係なくたくさんの子どもの名前が呼んでくれること、「先生が担任で良かった」と言ってもらえること、いろんな悩みなどを親身になって聞いてくれる人などたくさんの人との繋がりがあって今の自分がいます。

2023 今年度の活動報告

令和4年5月21日(土)

第22回植草学園短期大学同窓会総会

卒業生同士で卒業後や短大時代の話をしたり、簡単なゲームをして親交を深めたりするなどして過ごしました。今年度は例年より同期を誘って参加してくれた卒業生が多くいました。参加してくださった方、ぜひ来年度もよろしくお願いいたします！

令和4年11月12日(土)

第12回さくら会抽選会 緑栄祭

今年度も豪華な景品を用意して開催しました！ご参加いただきありがとうございました。

2023 今後の同窓会活動予定

令和5年5月

総会 職場を語る会

来年度も総会と合わせて職場を語る会を開催する予定です。たくさんのご参加、お待ちしております。

※職場を語る会については、コロナウイルス感染状況により中止になる場合がございます。ご了承ください。

令和5年11月

緑栄祭

素敵な景品を用意してお待ちしています。豪華な景品が当たるかもしれませんよ！



子育てママ特集

今回は「子育てママ特集」として、子育て中の卒業生のママさんに、子育てに関する質問をしました。

Question

- Q1 お母さんになると分かった時感じたこと
- Q2 短大で学んで良かったこと
- Q3 子育てをする上で大変なことや感動したこと
- Q4 卒業生に一言

Answer 小森 佳穂さん(17期生)

- A1 お腹に自分の子がいるってわかった瞬間、嬉しい気持ちと私のことを選んでくれてありがとうって言う気持ちが強かったです。
- A2 手遊びや歌、栄養学や病気や怪我をしたときの応急処置
- A3 毎日の動きの変化や教えてもないことを自然と出来るようになっていくことがすごいと日々感動しています。大変なことは少しでも目を離すとんでも口に入れちゃうので目が離せないところです。
- A4 これから保育士、そしていつかは結婚して子どもができた時に学校で習ったことや保育士時代の経験が必ず育児に役立つことがあるのでその経験を大切に頑張ってください。



Answer 古川 弥生さん(17期生)

- A1 保育士という仕事をしていて担任を持った子たちを自分の子どものように愛おしく感じていたので、自分の子どもがお腹の中にいると分かった時はとても嬉しくてエコー写真ですらとても可愛く愛おしく感じました。
- A2 離乳食の作り方や子どもの病気についてですね。離乳食の味付けがどのような程度なのか学んでいたからこそ味の濃さに気をつけられました。子どもの病気については子どもが病気にかかった時どんな病気でどんな対処をしたら良いか冷静に判断できました。
- A3 やっぱり自分の時間がなくなり、自由な時間に眠れないことが大変です。特に生後半までは夜眠れないことが辛く大変でした。出来なかったことが出来るようになる瞬間はとても感動しました。成長一つ一つに毎日のように感動しています。
- A4 社会人として大変なことは沢山あると思いますが、今を楽しみましょう。



今年度も同窓会活動にたくさんのご協力をいただき、ありがとうございます。まだまだ不自由な生活が続いていますが、今後も工夫しながら活動を行っていきます。今後とも短大同窓会をよろしくお願いいたします。

植草学園さくら会会報編集委員 内山 知里

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶

植草学園大学附属高等学校
会長 木村 昌代



同窓生の皆様、いかがお過ごしですか。

いつも同窓会活動にご協力とご理解をいただきましてありがとうございます。

昨年は、体育大会や文化祭など、縮小版ながら学校行事を行うことができました。残念ながら同窓会総会は開催できませんでしたが、今年こそはと楽しみにしております。

高校の同窓生は11,000人を超える大きな組織となり、同窓生の皆様が色々な場面で活躍されています。同窓会の今後ますますの発展のために、これからも引き続き皆様のお力添えをいただきたくお願い申し上げます。

校長就任のあいさつ

植草学園大学附属高等学校
校長 植草 和典



昨年の3月に植草完前校長が急逝したことに伴い、4月から4代目の校長となりました。

附属高校には、かつて社会科の教員として所属したことはありますが、校長として戻るとは晴天の霹靂と言ってよいでしょう。高校の行事等に参加することは楽しいことです。しかし、現在、学園の理事長と美浜幼稚園園長に就いており、その上に高校校長を兼務して、やり遂げることができるのか、皆さんに迷惑を掛けてしまうのではないかと、やや不安を抱えながら勤務しています。

完前校長は副理事長でありましたので、二人で学園経営や各校の運営についてよく話をしてきました。その中で、高校について頻繁に話題となったことは、老朽化が進む本校舎、生徒募集、ICTへの対応、教員の働き方改革などの高校の将来構想や高校が抱える課題についてです。これからは、これらの課題解決を完先生に替わって進めていくことになりました。幸いなことに高校の教職員は、教育改革や生徒募集にも意欲的に動いてくれます。

今年、スクールモットーに位置づけました「You can do it! やればできる君ならできる」の元、学校が更に飛躍するように頑張りたいと思います。

卒業生の皆さんには引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

R4年

麗峰祭開催



令和4年度麗峰祭開催いたしました。とはいえ、外部からのお客様なし、保護者は3学年のみ(事前申し込み)、食品の取り扱い規制あり。という、ちょっと難しい状況でした。しかし生徒はとても良い工夫をし、インスタ映えスポットや手作りのゲームを作成し楽しませてくれました。本人たちも楽しんでいただいていると思います。コスプレも多かったです。可愛かったなあ。そして今年は新たなメンバーで教職員バンドも再始動したのですよ。来年こそは卒業生の皆様にもご来校いただき、楽しんでいただきたいと願っております。



外壁工事をしました。

2021年、夏、念願のトイレ改修工事、そして、2022年、夏、外壁工事！植草学園大学附属高等学校は、生徒の学習環境をより改善するためにさまざまな改修を行っております。この夏は外壁工事でした。見よ！このこざっぱりとした外観！ってわかりますか？



令和4年度3学年先生方から 卒業生のみなさんへメッセージ

テーマ：大切にしているもの・こと

3年A組担任 宮崎 大 先生

私の好きな言葉があります。
どこかの国(?)のことわざのようです。
『早く行きたければ、ひとりで行け。遠くまで行きたかったら、みんなで行け』
人間は、一人では生きていけません。というか、みんなで力を合わせないと出来ないことがたくさんあります。『信頼できる人』や『気の合う仲間』は、かけがえのない財産です。これまでに会ってきた「人」、そしてこれから出会う「仲間」を大切にしてください。



3年C組担任 今井 亨 先生

自分にとっての癒し、活力源があれば、どんなに苦しいときでも立ち向かうことができるはず。それを大切に、明日を、未来を生きてください。



3年I組担任 池田真依 先生

写真は教員になった初めての年の教務手帳(先生がいつも持っている細長いアレ)です。いよいよなんだ、という嬉しさから記念に写真に残しました。これを見ると当時のことを鮮明に思い出します。いつまでも初心を忘れずに精進していける、そんな人間でありたいです。皆さんも、高校卒業後に行き詰まることもあると思います。そんなときは、初心を思い出してもう一踏ん張りしてみましょう。皆さんの未来に幸あれ！



3学年副担任 荒木雄二郎 先生

アメリカの思想家エマーソンは、「いい本を読むとき、私は三千年も生きられたと思う」という言葉を残しています。写真の本は、私が学生時代に初めて読んだ難しい本です。難しくてもいい本だったので、私は三千年も生きられたような気分になりました。皆さんも、ぜひ、いい本と巡り会ってください。



3学年主任 松本恵美 先生

中学校の担任の先生の言葉です。○十年もずっと財布に入れて持ち歩いているのでボロボロになっています。先生とはもう会うことはできませんが、いつも心には先生の言葉があります。先生の生き方が、私の道標です。皆さんもどうか、人生でこの人に巡り会えてよかったと思えるような素敵な出会いをしてください。そして、その出会いを大切にしてください。皆さんのこれからの人生が幸多きものであることを願っています。



3年B組担任 田村智子 先生

世界で最も貧しい大統領として知られた南米ウルグアイのホセ・ムヒカ大統領の引退演説での言葉です。「人生の勝利とは、何度でも立ち上がり、やり直すこと」
楽しいことも、悲しいことも、高校時代のいろいろな経験が、みなさんの人生を彩り豊かにし、「人生の勝利」へと導いてくれることでしょう。いいことも、悪いことも、それを含めてみんな「人生」だからね。お互いに「勝利者」になれるよう、毎日精進しましょう。



3年D組担任 宮本 凌 先生

先生が大切にしているものは修学旅行でディズニーに行った時のパレードの写真です。皆さんはコロナの大変な状況の中で入学してきました。その後も学校行事が次々と中止になり、コロナに振り回される日々が続きましたね…。そんな皆さんが修学旅行でディズニーに行くと聞いてクラスで大盛り上がりして、当日本当に楽しそうにはしゃいでいた姿が今でも忘れられません。コロナに負けず、これからの人生も全力で生きてください！そして将来幸せになって、その姿を学校に見せに来てくださいね！



3年L組担任 成田瑞紀 先生

私が大事にしているものは楽器です。今では練習時間が少なくなりましたが、大人になっても細く長く続けています。Practice makes Perfect. 何事も続けることが大切です。それが自分の成長に繋がります。



3学年副担任 鈴木悠太郎 先生

私からは大切にしている四字熟語についてお話しします。
“雲外蒼天”です。
どんな困難が訪れても必ずその先には明るい未来が待っているという意味です。
この先、何度もつらいこときついことなど壁にぶつかるかとは思いますが、必ず報われます。信じて頑張ってください。応援しています。



令和4年度 3学年の先生方、ありがとうございました。



いつも自転車操業のさくら会報高等学校の部です。みなさんこんにちは！今回は3学年の先生方に「大切にしているもの・こと」というお題で寄稿をお願いしました。先生方、生徒への愛情にあふれていますね。なんだかんだみなさんのことが大好きなのですね。母校に愛されているみなさん、今はまだコロナひとつとっても安心できない日々ですが、空元気出して頑張りましょう！

植草学園さくら会報編集委員 竹村 美紀・木村 昌代

植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校同窓生より

植草文化服装専門学校 きもの科 平成2年度卒業 吉野 由香さん

きもの科を卒業して、植草ほう理事長先生の古くからのご友人である加藤和裁に入って30年以上経ちました。当初は専門学校の知識、技術が生かされると希望に満ちていましたが、現実は大きく違いました。

中卒・高卒で和裁所に入った同学年の技術の高さに驚き、そして焦りました。一通り縫いの習得が終わって裁断を習っていた時、何気なく聞いた一言「余計な事言っていないで言われた事だけやりなさい!!」と厳しい言葉が返ってきました。

一人前の職人になる為には大変なんだと気付かされた一言でした。(裁断ミスは弁償ものなので…)

その後順調に平成8年に和裁教員免許取得、平成11年に一級技能検定に合格、同じく平成11年に社団法人日本和裁士会一級合格、平成25年に千葉県職業能力開発協会の技能振興で、「ものづくりマイスター」に登録認定して頂きました。

現在は千葉市中央区登戸で藤工房和裁教室(加藤和裁)で、着物好きの方々に基本の運針から教えています。

仕立ての技術は、加藤和裁、知識は植草文化服装専門学校・きもの科での学びがとても役に立っています。

きものは世界一エコな着衣として知られています。

今後は基本の着物製作と無駄にしないリメイク(着物の帯やコート・作務衣・小物など)を広く知ってもらう為、これからも精進していきたいと思います。



左が吉野さん

植草幼児教育専門学校

会長挨拶

植草幼児教育専門学校同窓会
第14期生 会長 小笠原 晴代



職場が一緒の9期
金子紹先輩と一緒に

皆様お元気でお過ごしでしょうか。今年度も9月に役員総会を無事終えましたことをご報告させていただきます。今年度の議題は「コロナ禍以前のように、同窓生が集う場や連絡を取り合う場を作っていくには」です。コロナの収束の目途が立たない今、感染には気をつけながらも、幼専での出会い、そしてつながりを今だからこそ大事にしていきたいと思っております。企画は思案中です。賛同していただける方、是非ご連絡をお待ちしております。

同窓生の窓

植草幼児教育専門学校
第31期生 中川 優美(旧姓 石井)

幼専在学中は沢山の同じ夢を持つ友人と濃密な2年間を過ごしました。創作ダンスの発表、研修旅行で担当園児と一緒に箱根散策した事、絵本を題材にした創作劇、運動会実行委員会、オーストラリアへの修学旅行、ピアノ練習室に籠って練習に明け暮れた日々、実習中は友人同士支え合い、写真を見返すといつでもあの頃にタイムスリップしてしまいますね。

卒業後は私立幼稚園で担任として9年勤務、その後結婚出産も挟みながら現在は公立幼稚園で保育補助・養護補助員として勤務しています。大変な情勢ではありますが笑顔忘れずにこれからも子供達と関わってきたいと思っています。



編集委員より

幼専が歴史の幕を閉じてから18年の月日が経とうとしています。その後も植草学園は発展しつづけています。もちろん幼専の火も消えることなく様々な場所で皆様ご活躍のことと存じます。私達同窓会係も仕事とプライベートを両立しながらではありますが、同窓生の皆さまが幼専を思い出す場、語り合う場を今後も作っていけるよう頑張っていきます。お楽しみに!

植草学園さくら会会報編集委員 内山 香菜・小太刀 彩子・小林 亜紀子・堀井 愛美

植草幼児教育専門学校同窓会へ寄付していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。大切にさせていただきます。

会報誌 記事募集

会員の皆様とつながりの場になればと思いますので、プチ同窓会の様子、勉強会の様子など、さくら会会報誌に記事をお寄せください。なお、就職に関する情報等もお待ちしております。

大学キャリア支援課(もしくは各同窓会役員へ)『sakura@uekusa.ac.jp』へお送りください。

令和4年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 中澤潤 ※令和5年度は総会後に決定します。
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 木村昌代 関桃子 半田貴大
- 監事 吉野節子 吉野碧
- 理事 齊藤京子 景山明子 鈴木朱美 小笠原晴代 信田一美
岡田真貴子 竹村美紀 伊藤楓 富井琴音 齊藤清美 道正夏生
岡田真帆 三上恵里 渡邊真由
- 企画委員長 道正夏生
- 会報編集委員長 渡邊真由
- ホームページ委員長 伊藤楓 ● 代議員 各校より計22名
- 大・短同窓会協力委員会 松原敬子 根本曜子 村上悦子 荒金房子 千葉諭
- 高校協力員 田村尚雄 ● 学園事務局長 宮尾孝 ● 事務局 キャリア支援課

植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「学園について」→「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>

会報誌の発送停止・住所変更に関することは各同窓会係まで
大学・短大・幼専：キャリア支援課 043-233-9080
高校：附属高校 043-252-3551